

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	大地震時耐震性能評価小委員会	主 査 名：岡野 創 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>根拠に基づいて大地震に対する適正な対策を立案するために、建物の損傷とそれに伴う損失を定量的に評価する手法および DB を確立することを目的とする。</p> <p>初年度：RC,S 造骨組の部材フラジリティと修復費の暫定案，シンポジウム開催 2 年度：DB 公開の準備，2 次部材を含む部材フラジリティ・修復費の継続検討 3 年度：部材フラジリティの拡充，事前対策コストの検討，DB 逐次公開 4 年度：大会 PD (振動) 実施，刊行物の企画，成果展開法の検討，DB 逐次公開</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：岡野 創 (千葉大学)</p> <p>幹事：久家 英夫 (竹中工務店)，杉野 未奈 (京都大学)，西澤 崇雄 (日建設計)</p> <p>委員：石原 直 (東京工業大学)，糸井 達哉 (東京大学)，伊山 潤 (東京大学)， 梶原 浩一 (防災科学技術研究所)，司 宏俊 (東京大学)，白井 和貴 (北海道大学)， 壇 一男 (熊本大学)，土肥 博 (NTT アーバンソリューションズ)，長江 拓也 (名古屋大学)，永野 正行 (東京理科大学)，宮腰 淳一 (清水建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・地震動評価 WG：妥当性，ばらつきを含む地震動評価全般 ・RC 造構造性能評価 WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・S 造構造性能評価 WG：該当構造の部材フラジリティ・修復費・応答評価 ・2 次部材性能・コスト評価 WG：該当部材のフラジリティ・修復費評価他 	
2022 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 一部 WG で新たに各種構造の専門家委員が加わり，議論が活性化</p> <p>2. 大会研究協議会「性能規定化から 20 年・その現状と未来」の主題解説を担当</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 部材フラジリティ評価のために各種構造の専門家委員の一層の拡充が必要